

MDV-MX12F MDV-M912F MDV-M912L MDV-M812F MDV-M812L MDV-M712W MDV-M712

AV Navigation System

スタートガイド 取付説明/保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、本書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

もくじ

はじめに.....	2
取付説明.....	10
付録	39
保証	49

※本書に操作方法は掲載されていません
操作方法についてはユーザーガイド(下記)をご覧ください。

詳しい操作方法は「ユーザーズガイド」をご覧ください

スマートフォンやタブレット、パソコンなどでご覧になれます。

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/mdl-mx12_m912_m812_m712/



My-Kenwoodのご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。

下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。

<https://jp.my-kenwood.com>



JK Sustainability

はじめにお読みください

説明書の構成について

本製品の説明書は、以下のように提供しています。

■スタートガイド（本書）

本機を安全にご使用いただくためのご案内や車両への接続、取り付け方法などを説明しています。

■ユーザーズガイド

本機の操作方法や、故障と思われるような場合の解決方法などを説明しています。

ユーザーズガイドには、ウェブブラウザで閲覧できるWeb版と、PDFビューアーで閲覧できるPDF版があります。

ユーザーズガイドは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどで、以下のウェブサイトから閲覧できます。（通信費はお客様のご負担となります）

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/mdv-mx12_m912_m812_m712/



本機のサポート情報について

■本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi>



■FAQ（よくあるご質問）

以下のウェブサイトでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

ユーザーズガイドの「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

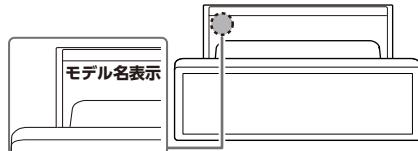
<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>



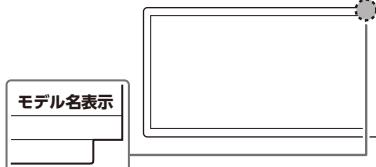
モデル名の表示位置について

使用されているナビゲーションシステムのモデル名は、パネルの以下の位置に表示されています。

■MDV-MX12F / MDV-M912F / MDV-M812F



■MDV-M912L / MDV-M812L / MDV-M712W / MDV-M712



動作確認の操作方法について

ディスク/SDカードの入れかた

■MDV-MX12F / MDV-M912F / MDV-M812F

- 1 フロントパネルを手前に十分倒して、ディスクまたはSDカードを挿入口に入れる

- 2 フロントパネルを元に戻す

■MDV-M912L / MDV-M812L / MDV-M712W / MDV-M712

- 1 パネルメニューを表示する
 - MDV-M912L/MDV-M812L/MDV-M712
フロントパネルの【▲】を押す
 - MDV-M712W
フロントパネルの【MENU】を押して【パネル】をタッチする

- 2 [DISC] または [SD] をタッチする
- 3 ディスクまたはSDカードを挿入口に入れる

ディスクを入れると、フロントパネルが自動で閉じます。
SDカードを入れた場合は音量以外のボタンを押してフロントパネルを閉じます。
- 4 フロントパネルの【MENU】を押して、【ソース切替】をタッチして確認するソースをタッチする

ディスクを入れた場合は、自動的にDISCソースに切り替わります。

接続情報画面の表示のしかた

- 1 フロントパネルの【MENU】を押して、【情報・設定】をタッチして【接続】をタッチする

接続情報画面が表示されます。



- 詳しい操作方法は、「ユーザーズガイド」(P. 2)をご覧ください。

故障と思われる場合について

故障と思われる症状が発生した場合は、まず「ユーザーズガイド」(P. 2)の「故障かなと思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。

もし、解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告

-  **本機はDC12V ⊖アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因となります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。
-  **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
-  **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
-  **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
-  **フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない**
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。
-  **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
-  **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。
-  **作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す**
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

- 作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。
- 必ず付属の部品や指定の部品を使用する**
本機の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。
- コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
- コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する**
正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。
- 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
- ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**
誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

- 自動車のコンソールに取り付ける**
本機の使用中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**
本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない**
水や油煙などがあると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 本機の通風口や放熱板をふさがない**
本機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- コードの扱いに注意する**
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告

- 分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- 音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

-  **本機内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが本機にかかるないようにご注意ください。
-  **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
-  **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
-  **雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。
-  **ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する**
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。
-  **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠ 注意

-  **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
-  **ディスプレイを前に倒した状態のまま運転しない**
車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがの原因となることがあります。
-  **ディスプレイや可動部に負荷を与えない**
ディスプレイに袋を吊り下げる、上から手をついて押さえたりしないでください。脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となることがあります。
-  **ディスプレイは温度を確認してから操作（起こす、倒す、角度調整）をする**
日光やヒーターの熱風などが長時間直接あたっていた場合や長時間連続使用した場合は、本機が高温になり、やけどの原因となることがあります。温度が低下するまで使用しないでください。
-  **可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**
フロントパネル開閉や角度調整のときにはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

-  **異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や「ユーザーズガイド」(P. 2) の注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

■本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えたりすることがあります。

■フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

■オートアンテナ（電動アンテナ装備車）の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール(ANT CONT)端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。

オートアンテナのしまい方については「ユーザーズガイド」(P. 2)をご覧ください。

■画面について

- 画面をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。

● 画面に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。

● 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。

● 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

● 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。

● 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

■結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ナビゲーションについて

● 初めてご使用になると、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。

● 走行中は、安全のため、一部を除く細街区*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街区が表示されます。

- 細街区を走行中の現在地図画面
- 市街地図を表示しているとき
- マップマッチングしていないとき
- 駐停車中

*：細街区とは、幅員5.5m未満の道路のことといいます。

■フロントパネルの安全装置について

(MDV-M912L/MDV-M812L/MDV-M712W/MDV-M712のみ)

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

■ フロントパネルについて

(MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M812Fのみ)

フロントパネルを倒す/戻すなど、動かすときは指を挟まないように注意してください。

■ 電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国外以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また本機は、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解/改造すること
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機のBluetooth®機能は2.4GHz帯の周波数帯を使用します。
- 本機の無線LAN機能は2.4GHz帯と5GHz帯の周波数帯を使用します。（MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M912Lのみ）
- 電波法により、5GHz帯(W52)の帯域を使用した無線装置は、自動車内に設置して使用する以外、使用は禁止されています（法令により許可された場合を除く）。5GHz帯(W52)を利用した無線LAN機能は、必ず自動車内でご使用ください。（MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M912Lのみ）
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

- MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M912L

2.4 FH1/DS4/OF4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH/DS/OF : FH-SS、DS-SS、OFDM変調方式を表します。

1 : 電波与干渉距離は10m以下です。

4 : 電波与干渉距離は40m以下です。

: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- MDV-M812F/MDV-M812L/MDV-M712W/MDV-M712

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH : FH-SS変調方式を表します。

1 : 電波与干渉距離は10m以下です。

: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランシミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じことがあります。

- 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかる通信には使用しないでください。

■本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などは、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、「システムを初期化する」で行なうことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に解除/削除してください。

- 暗証番号の解除：「暗証番号を解除する」
- 内蔵メモリ/SDカードに録音したデータ：「録音データを削除する」

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

「システムを初期化する」、「暗証番号を解除する」、「録音データを削除する」については、「ユーザーズガイド」（P. 2）をご覧ください。

■本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。

該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。

ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

■VICSについて

「VICS情報有料放送サービス契約約款」については、「ユーザーズガイド」（P. 2）の「VICSについて」をご確認ください。

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/mdv-mx12_m912_m812_m712/



取付用部品一覧

取付作業を始める前に、以下の部品が揃っていることを確認してください。

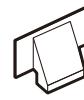
①本体ユニット^[1] ×1



⑧サラネジ(M5x8mm)^[5] ×6



⑯手前用カバー^[1] ×2



②ディスプレイユニット^[1] ×1



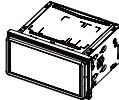
⑨セムスネジ(M4x8mm) ×1



⑯手前用ブラケット(L/R)^[1] ×1



③本機^[2] ×1



⑩マイク(Bluetoothハンズフリー通話用)(3m) ×1



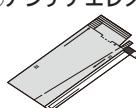
⑰十字穴付き六角ネジ(M5×8mm)^[1] ×6



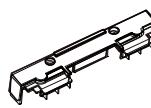
④GPSアンテナ(3.5m) ×1



⑪アンテナエレメント ×4



⑯目隠しカバー^[1] ×1



⑤GPSアンテナ用プレート ×1



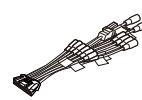
⑫アンテナケーブル(4m) ×4



⑯バインドネジ(黒)(Φ3x6mm) ×2^[1]



⑥電源ハーネス ×1



⑬クリーナー ×1



⑯アンテナ変換ケーブル ×1



⑦トラスネジ(M5x8mm) ×6^[3]
または8^[4]



⑭ソフトテープ ×1



[1] MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M812F のみ

[2] MDV-M912L/MDV-M812L/MDV-M712W/MDV-M712 のみ

[3] MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M812F /MDV-M812L /MDV-M712W /MDV-M712 のみ

[4] MDV-M912L のみ

[5] MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M812F /MDV-M712 のみ

- MDV-M912L を取り付けるには、取付用部品のほかに、チルトアダプター（純正部品）が必要な車両があります。必要な車両については<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>をご覧ください。

取付作業の進めかた

MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M812Fのご注意

- (18) 目隠しカバーは、必ず⁽¹⁹⁾バインドネジ（黒）で取り付けてください。
(18) 目隠しカバーを取り付けていない場合、本機の電源がオンになりません。



注意

- ・本体ユニット、ディスプレイユニットを持ち運ぶときや、取り付け時に落とさないように注意してください。足の上などに落とすとけがや機器の損傷の原因となります。
- ・配線するときにケーブルを可動部に挟み込まないように注意してください。

作業上のご注意

- ・各ユニットとも次のような場所には取り付けないでください。
直射日光やエアコンの送風が当たる場所
(MDV-M912L/MDV-M812L/MDV-M712W/MDV-M712 のみ)、水のかかる場所、高湿になる場所、しっかりと固定できない場所、グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ・ナビゲーションシステム本体（以下「本機」）は所定の場所に取り付けてください。通気性の悪い場所などに取り付けると、内部の湿度が高くなり故障や誤動作の原因となります。
- ・本機はしっかりと取り付けてください。
- ・本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。取り付け前に動作確認などをを行う際は注意してください。
- ・ディスクを使用して取り付け前の動作確認を行う場合は、本機を水平な状態にしてディスクの出し入れを行ってください。

取り付け手順

■MDV-MX12F /MDV-M912F / MDV-M812F

MDV-MX12F /MDV-M912F にマルチビューカメラCMOS-320（別売品）をフロントビューカメラとして接続する場合は、手順7でカメラの識別設定を行ってください。

1 パネルの前後位置と上下位置の調整をする

詳しくは「取り付け情報を取得する」
(P. 15) を参照してください。
(取り付ける車種によっては、調整が不要な場合もあります)

2 エンジンキーを抜きバッテリーの \ominus 端子を外す

3 GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける

- 「GPSアンテナの取り付け」(P. 21)
- 「Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け」(P. 22)
- 「地デジ用アンテナの取り付け」(P. 22)

4 本体ユニットに車両ブラケットを取り付ける

- 「本機の取り付け」(P. 19)

5 周辺機器を接続する

- 「周辺機器の接続」(P. 28)

6 電源ハーネスを接続する

- 「電源ハーネスの接続」(P. 37)

7 MDV-MX12F /MDV-M912F に CMOS-320をフロントビューカメラとして接続する場合、カメラの識別設定をする

以下の(1)～(6)の手順でカメラの識別設定を行います。

(1) CMOS-320に付属のスイッチユニットを接続する

- 「カメラの識別設定」(P. 31)

(2) バッテリーの \ominus 端子を接続して車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにする

(3) CMOS-320の識別設定を行う

- 「カメラの識別設定」(P. 31)

(4) 車両のエンジンキーを"OFF"にして本機の電源をオフにする

(5) バッテリーの \ominus 端子を外す

- (6) ⑥電源ハーネスと、CMOS-320の「CAM+」および「CAM-」を接続する
→「フロントビューカメラの接続」
(P. 34)

8 本体ユニットを車両に取り付けてディスプレイユニットを本体ユニットに取り付ける

→「本機の取り付け」(P. 19)

9 取り付け終了後にバッテリーの \ominus 端子を接続する

10 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして、本機の電源がオンになることを確認する

■MDV-M912L

マルチビューカメラCMOS-320（別売品）の接続の有無、およびフロントパネル基準角度の設定の要不要で取り付け手順が変わります。以下の表示に従って取り付けを行ってください。

【フロントカメラを接続する場合】：CMOS-320を接続する場合に実施する手順です。

【フロントカメラを接続しない場合】：CMOS-320を接続しない場合に実施する手順です。

【パネル設定が必要な場合】：フロントパネル基準角度設定が必要な場合に実施する手順です。

【パネル設定が不要な場合】：フロントパネル基準角度設定が不要な場合に実施する手順です。

1 フロントパネルの基準角度の設定が必要か確認する

以下のwebサイトを参照して、取り付ける車種では設定が必要か確認します。

<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>



2 エンジンキーを抜きバッテリーの \ominus 端子を外す

- 3 GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける**
- 「GPSアンテナの取り付け」(P. 21)
→「Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け」(P. 22)
→「地デジ用アンテナの取り付け」(P. 22)

4 本機に車両プラケットを取り付ける

→「本機の取り付け」(P. 19)

5 周辺機器を接続する

→「周辺機器の接続」(P. 28)

6 【フロントカメラを接続する場合】CMOS-320のカメラの識別設定をするためCMOS-320に付属のスイッチユニットを接続する

→「カメラの識別設定」(P. 31)

7 電源ハーネスを接続する

→「電源ハーネスの接続」(P. 37)

8 【フロントカメラを接続しない場合】本機を車両に取り付ける

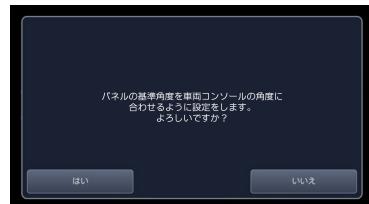
→「本機の取り付け」(P. 19)

9 バッテリーの \ominus 端子を接続する

10 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして、本機の電源がオンになることを確認する

本機の電源がオンになると、フロントパネルの基準角度の設定を行うか確認するメッセージが表示されます。

11 [はい] または [いいえ] をタッチする



- 【フロントカメラを接続する場合】
[いいえ] をタッチする
基準角度の設定をする場合でも、フロントビューカメラを接続する場合は、先にフロントビューカメラの設定をするため、ここでは[いいえ] を選択します。
- 【フロントカメラを接続しない場合】
で [パネル設定が必要な場合]
[はい] をタッチする
- 【フロントカメラを接続しない場合】
で [パネル設定が不要な場合]
[いいえ] をタッチする

12 【フロントカメラを接続する場合】

以下の(1)～(5)の手順でカメラの識別設定を行います。

- (1) CMOS-320の識別設定を行う
→「カメラの識別設定」 (P. 31)
- (2) 車両のエンジンキーを"OFF"にして本機の電源をオフにする
- (3) ⑥電源ハーネスと、CMOS-320の「CAM+」および「CAM-」を接続する
→「フロントビューカメラの接続」 (P. 34)
- (4) 本機を車両に取り付ける
→「本機の取り付け」 (P. 19)
- (5) 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして、本機の電源がオンになることを確認する

13 【パネル設定が必要な場合】

「フロントパネルの基準角度設定」
(P. 26) を参照して、フロントパネルの基準角度の設定を行う

■MDV-M812L /MDV-M712W / MDV-M712

- 1 エンジンキーを抜きバッテリーの \ominus 端子を外す
- 2 GPSアンテナ、Bluetoothハンズフリー通話用マイク、地デジ用アンテナを取り付ける
 - 「GPSアンテナの取り付け」 (P. 21)
 - 「Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け」 (P. 22)
 - 「地デジ用アンテナの取り付け」 (P. 22)

- 3 本機に車両ブラケットを取り付ける
→「本機の取り付け」 (P. 19)
- 4 周辺機器を接続する
→「周辺機器の接続」 (P. 28)
- 5 電源ハーネスを接続する
→「電源ハーネスの接続」 (P. 37)
- 6 本機を車両に取り付ける
→「本機の取り付け」 (P. 19)
- 7 取り付け終了後にバッテリーの \ominus 端子を接続する
- 8 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして、本機の電源がオンになることを確認する

取付作業が終わったら

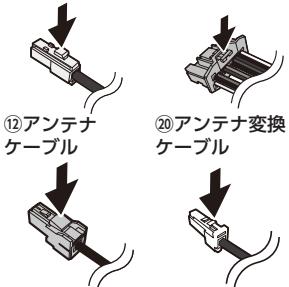
取付作業後にセンサー学習を行います。センサー学習は、GPSアンテナを正しく接続し受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行をします。しばらくすると、センサー学習が完了し、自車マークの位置が正しく表示されます。



- GPSアンテナの接続状態やGPS情報の受信状態の確認方法は、「接続情報画面の表示のしかた」 (P. 3) をご覧ください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ナビゲーションの自車マークの位置は、センサー学習が完了するまで、実際と大きく異なる場合があります。
- センサー学習を初期化した場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。

- ロック付きのケーブルを取り外すときは、ロック解除をした状態で抜いてください。ロックが解除されていない状態でケーブルを引っぱると、ケーブルが破損することがあります。
ロックは下図の矢印の方向に押していく間解除できます。

④GPSアンテナ ⑥電源ハーネス



取り付け情報を取得する

(MDV-MX12F/MDV-M912F/MDV-M812F のみ)

適合車種（取付可否など）や取り付け推奨位置情報を以下のウェブサイトから取得してください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>



● パネルの前後位置変更が必要な場合

パネルの前後位置は、お買い上げ時「奥」に設定されています。

取り付け情報で、パネルの推奨前後位置が「手前」の場合は、「スライダーを手前に引き出す」（P. 18）を参照してスライダーを手前に引き出してください。

● パネルの上下位置調整が必要な場合

パネルの上下位置は、お買い上げ時「1」に設定されています。

取り付け情報で、パネルの推奨上下位置が「1」以外の場合は、「パネルの高さ調整」（P. 19）を参照して上下位置を調整してください。

● 取り付けられない車両について

以下のような車両には取り付けられません。

ただし、スライダーの位置とパネルの高さの調整で回避できる場合は取り付けられます。

シフトレバー、ワイパーレバー、ウインカーレバーなどの操作を妨げる	運転席から見てハザードスイッチが隠れる	車両のパネルと接触する

■ MDV-MX12F

スライダー の位置設定	パネルの角度			パネル基準		パネルの高さ設定(mm)			
	-10°	0°	60°	角度	間隔	1*	2	3	4
奥*	奥*				-10°	a	14.8		
					b	45.0	54.9	64.7	74.6
				0°	a	28.4			
					b	39.4	49.4	59.4	69.4
	手前			60°	c	7.2	15.8	24.5	33.2
					d	40.3	35.3	30.3	25.3
				-10°	a	34.8			
					b	45.0	54.9	64.7	74.6
	手前			0°	a	48.4			
					b	39.4	49.4	59.4	69.4
				60°	c	27.2	35.8	44.5	53.2
					d	40.3	35.3	30.3	25.3

* : お買い上げ時の設定

■ MDV-M912F

スライダー の位置設定	パネルの角度			パネル基準		パネルの高さ設定(mm)			
	-10°	0°	60°	角度	間隔	1*	2	3	4
奥*	奥*				-10°	a	14.8		
					b	14.9	24.8	34.6	44.5
				0°	a	28.4			
					b	11.4	21.4	31.4	41.4
	手前			60°	c	6.6	15.2	23.9	32.5
					d	29.8	24.8	19.8	14.7
				-10°	a	34.8			
					b	14.9	24.8	34.6	44.5
	手前			0°	a	48.4			
					b	11.4	21.4	31.4	41.4
				60°	c	26.6	35.2	43.9	52.5
					d	29.8	24.8	19.8	14.7

* : お買い上げ時の設定

■MDV-M812F

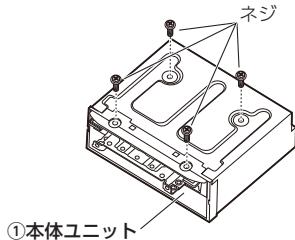
スライダー の位置設定	パネルの角度			パネル基準		パネルの高さ設定(mm)			
	-10°	0°	60°	角度	間隔	1°	2	3	4
奥*	奥*				-10°	a	14.8		
					b	14.8	24.7	34.5	44.4
				0°	a	28.4			
	手前				b	11.2	21.2	31.2	41.2
				60°	c	6.9	15.5	24.2	32.8
					d	27.7	22.7	17.7	12.7
	手前				-10°	a	34.8		
					b	14.8	24.7	34.5	44.4
				0°	a	48.4			
					b	11.2	21.2	31.2	41.2
				60°	c	26.9	35.5	44.2	52.8
					d	27.7	22.7	17.7	12.7

* : お買い上げ時の設定

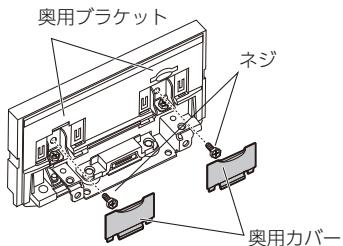
スライダーを手前に引き出す

推奨パネルの前後位置が「手前」の場合はスライダーを手前に引き出してください。

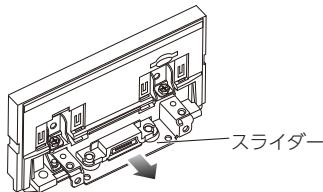
1 ①本体ユニット底面のネジ4本を外す



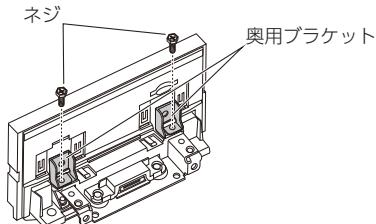
2 奥用カバー2カ所を取り外し、奥用ブラケットのネジ2本を外す



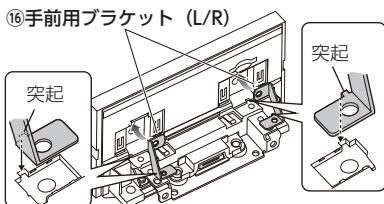
3 スライダーを手前に引き出す



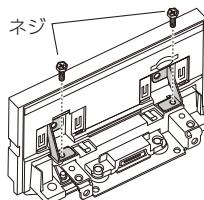
4 ネジ2本を外して奥用ブラケットを取り外す



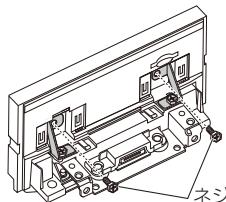
5 ⑯手前用ブラケット(L/R)の突起が溝に合う向きで取り付ける



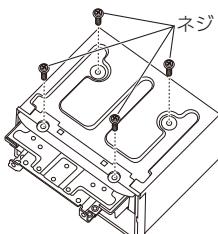
6 スライダー側の⑯手前用ブラケット(L/R)をネジ2本で固定する



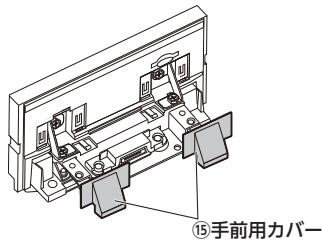
7 スライダーが止まる位置まで押し込み、本体側の⑯手前用ブラケット(L/R)をネジ2本で固定する



8 ①本体ユニット底面のネジ4本を取り付ける



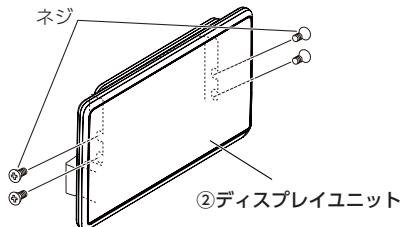
9 ⑯手前用カバーを2カ所に取り付ける



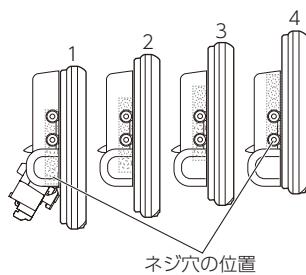
パネルの高さ調整

推奨パネルの上下位置が「1」以外の場合は、パネルの高さを調整してください。

1 パネル両側のネジ4本を外す



2 ネジ穴の位置を合わせるようにして、パネルの高さを調整する（お買い上げ時は1）



3 両側のネジを4本取り付け、パネルを固定する

取り付けかた

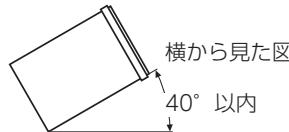
本機の取り付け

取り付け上のご注意

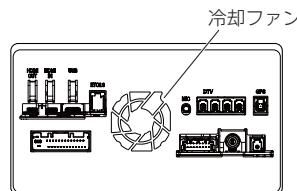
- 必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、プラケットまたは車両のプラケットなどから本機が外れことがあります。



- 必ず車両のプラケットなどを使って取り付けてください。
- 本機は上下方向に0～40°の範囲で取り付けてください。範囲を超えた角度で取り付けると、ジャイロセンサーが正しく動作しないことやディスクの音飛びの原因となります。

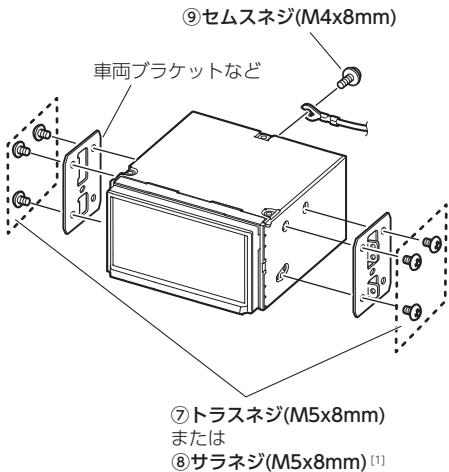


- 無線機を取り付ける場合は、無線機のアンテナを本機から1.5m以上離れた位置に取り付けてください。無線受信に影響をおよぼすことがあります。
- 本機は内部温度を下げるための冷却ファンがあります。冷却ファンをふさがないように取り付けてください。



取り付け方法

■MDV-M912L/MDV-M812L/ MDV-M712W/MDV-M712



[1]MDV-M712 のみ

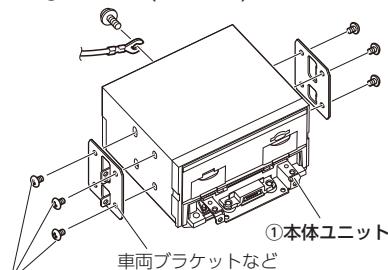


- 別売のワイヤリングキットや別売のカメラなどのアースコードは、付属の⑨セムスネジ(M4x8mm)で本機の背面に固定します。

■MDV-MX12F/MDV-M912F/ MDV-M812F

- 車両のパネルなどを取り外す
- 車両ブラケットを①本体ユニットに取り付ける

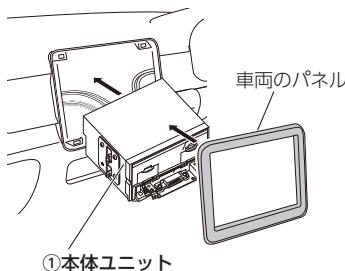
⑨セムスネジ(M4x8mm)



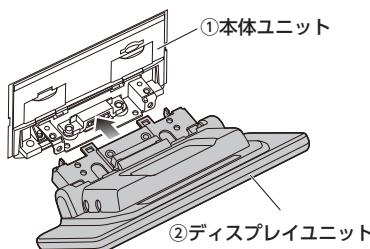
- 別売のワイヤリングキットや別売のカメラなどのアースコードは、付属の⑨セムスネジ(M4x8mm)で本機の背面に固定します。

3 周辺機器や⑥電源ハーネスを接続する

4 ①本体ユニットを車両に取り付け、外した車両のパネルを取り付ける



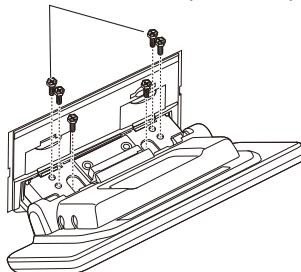
5 ②ディスプレイユニットを①本体ユニットに取り付ける



- パネルが車両のパネルと干渉する場合は、「パネルの高さ調整」(P. 19)を参照してパネルの高さを調整してください。

6 ⑯十字穴付き六角ネジ(M5×8mm)6本で②ディスプレイユニットを固定する

⑯十字穴付き六角ネジ(M5×8mm)

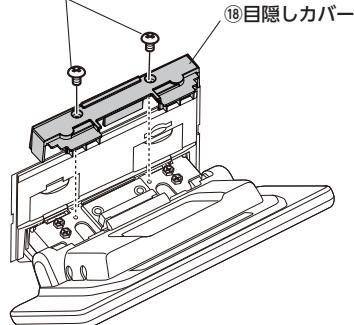


注意

- 本体ユニットから②ディスプレイユニットを脱着するときは、目隠しカバーを外し、本機の電源をオフした状態で作業してください。

7 結合部に⑯目隠しカバーを取り付け、⑯バインドネジ(黒)(Φ3x6mm)2本で固定する

⑯バインドネジ(黒)(Φ3x6mm)



- ⑯目隠しカバーを取り付けないと本機の電源が入りません。

8 パネルを手動で起こす

9 運転操作や視界の妨げになっていないか、車両のパネルと干渉していないかなどを確認する

GPSアンテナの取り付け

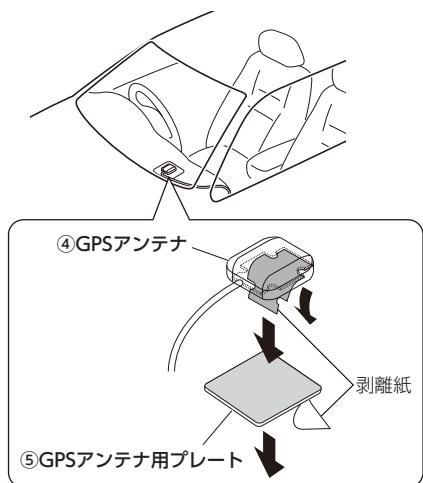
取り付け上のご注意

- ④GPSアンテナは車室内専用です。
- GPS衛星の電波を受信しやすいようにできるだけ水平に取り付けてください。
- 携帯電話や無線機などの電気・電子機器から30cm以上離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- ④GPSアンテナを本機に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなることがあります。本機からできるだけ離して取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、④GPSアンテナを移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。
- 車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかりと取り付けてください。
- 次の場合は受信感度が低下します。
 - フロントガラスが電波を通さないガラス(熱反射ガラスや断熱ガラス)である場合
 - フロントガラスにミラー調ガラスフィルムなどが貼ってある場合
- 車種により取り付けられない場合があります。
- 本機に付属以外のGPSアンテナは使用しないでください。
- ⑤GPSアンテナ用プレートを貼り付ける場所が平らでない場合は、⑤GPSアンテナ用プレートを曲げて場所の形状に沿って貼り付けてください。

取り付け方法

- ⑤GPSアンテナ用プレートを貼り付ける場所の油分や汚れをきれいに拭き取る
- ⑤GPSアンテナ用プレート裏面の剥離紙をはがし、ダッショード上に貼り付ける

- 3 ④GPSアンテナ裏面の剥離紙をはがし、⑤GPSアンテナ用プレート上に貼り付ける**



Bluetoothハンズフリー通話用マイクの取り付け

取り付け上のご注意

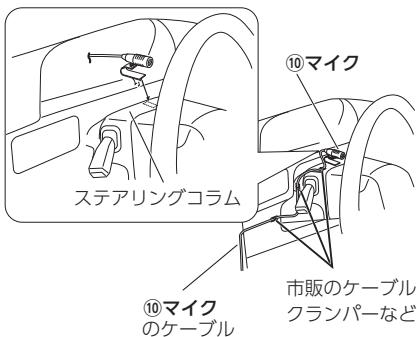
- 運転者の視界を妨げる位置やエアバッグや保安部品の動作の妨げとなる位置に取り付けないでください。
- ⑩マイク(Bluetoothハンズフリー通話用)(以降⑩マイク)は、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から離れた位置に取り付けてください。ハンズフリー通話時の音声がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- 車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- ケーブルの引き回しなどを確認してから貼り付けてください。

取り付け方法

■ステアリングコラム上への取り付け例

- 1 ⑩マイクを貼り付ける場所の油分や汚れをきれいに拭き取り、⑩マイクをステアリングコラム上に貼り付ける**

- 2 ⑩マイクのケーブルを本機取り付け場所まで配線する
必要に応じて配線を市販のケーブルクランパーなどで固定する**



マイクは運転者の正面に向くように設置してください。



地デジ用アンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- フィルムアンテナは車室内専用です。
- 次の位置には取り付けないでください。
車検標章などと重なる位置、運転者の視界を妨げる位置、エアバッグや保安部品の動作の妨げとなる位置、リアハッチなど可動するガラス面、車体の側面(ドアやフロントウォーターウィンドウなど)、リアウィンドウなど
- 次の場合は受信感度が低下します。
純正ラジオなどのアンテナ(パターン)に重なる場合、ウィンドウの熱線と重なる場合、フロントガラスが電波を通さないガラス(熱反射ガラスや断熱ガラス)である場合、ミラー調ガラスフィルムの貼ってある場所にアンテナを貼った場合、本書に記載の取付条件(エレメント位置や間隔など)を満たさない場合
- ⑪アンテナエレメントを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。
- 貼り付け面の温度を、暖房をかけるなどして高くしてから作業を行ってください。
- 車種により取り付けられない場合があります。

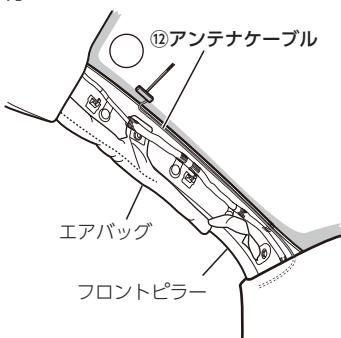
- フロントピラーカバーと⑪アンテナエレメントの給電部が干渉しないように、必ずフロントピラーカバーを取り外す前に確認してください。
- ルーフライニングに⑪アンテナエレメントの給電部が干渉しないように各⑪アンテナエレメントの貼り付け位置を確認してください。



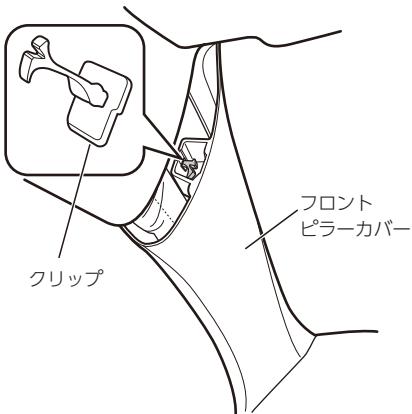
注意

⑫アンテナケーブルをエアバッブが装着されているフロントピラー内を通す場合、次の点に注意してください。

- アンテナとエアバッブが干渉しないようにするため、⑫アンテナケーブルがエアバッブよりも前方または上方になるように取り付けてください。



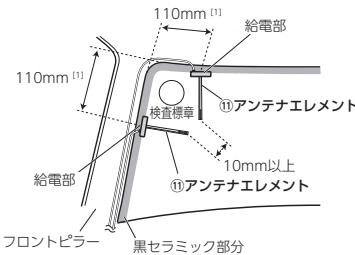
- フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定され、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。



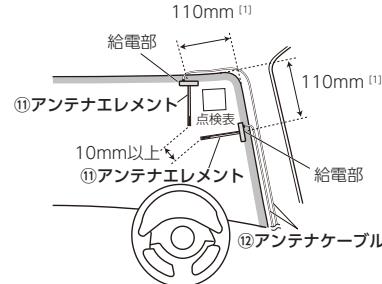
取り付け方法

1 設置位置例を参考に⑪アンテナエレメントの貼り付け位置を決定する

● 左側設置位置例（車内から見た図）



● 右側設置位置例（車内から見た図）

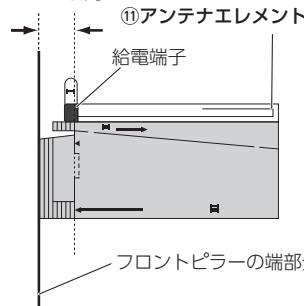


[1] 110mmは推奨値です。110~150mmの範囲で貼り付けてください。

⑪アンテナエレメントの給電端子がフロントガラス周縁のセラミック部分またはフロントピラーの端から25mm以内の位置になるように貼り付けてください。

<黒セラミック部分がない場合>

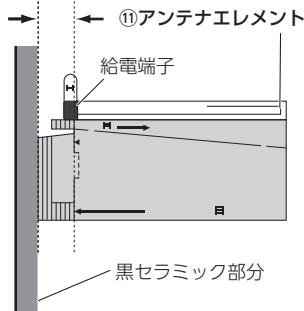
台紙の矢の先端から
25mm以内



<黒セラミック部分にドットがない場合>

台紙の矢の先端から

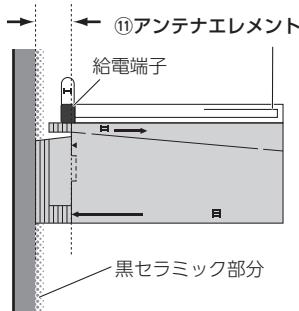
25mm以内



<黒セラミック部分にドットがある場合>

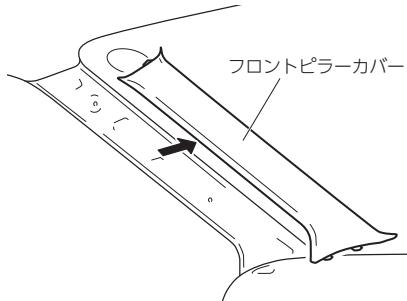
台紙の矢の先端から

25mm以内

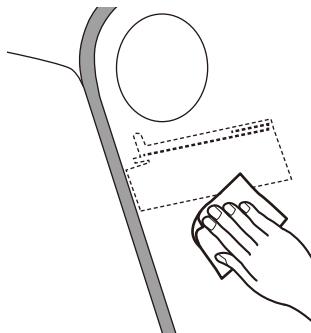


- ⑪アンテナエレメントと⑫アンテナケーブルの取り付け位置、向きを間違えないように、前記のとおりに貼り付けてください。貼りなおすことはできません。
- 国土交通省の定める保安基準*に適合するように貼り付けてください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準 第29条（窓ガラス）
- 正常に受信するために本書をよくお読みになり正しく貼り付けてください。

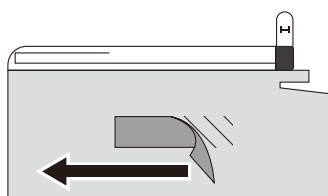
2 フロントピラーカバーを取り外す



3 ⑪アンテナエレメントを貼り付ける場所の汚れを⑬クリーナーできれいに拭き取る

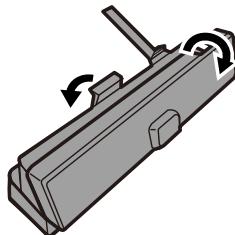


4 手順1で決定した位置に⑪アンテナエレメントの台紙裏の剥離紙をはがしてガラス面に仮固定する

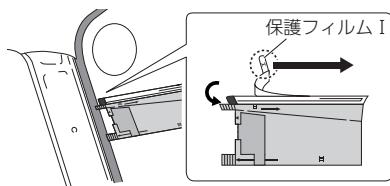


- フロントピラートリムやルーフライングと⑫アンテナケーブルの給電部が干渉しない位置を確認し、⑪アンテナエレメントの貼り付け位置を決定します。

5 ⑫アンテナケーブルの給電部のカバーを外す



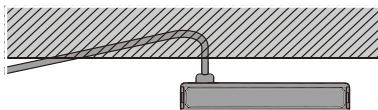
6 ⑪アンテナエレメントの保護フィルム I をはがし貼り付ける



注意

- 保護フィルム I をはがす前に、⑫アンテナケーブルの給電部を⑪アンテナエレメントに当てて車両部品に当たっていないことを確認してください。

7 ルーフライニング側に貼り付ける場合は、⑫アンテナケーブルを仮配線する

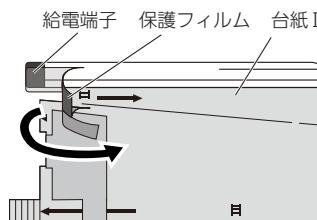


⑫アンテナケーブルはルーフライニング内に押し込みます。



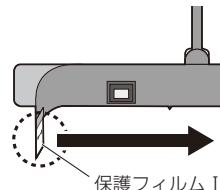
- ルーフライニング側に貼り付ける場合は、先に⑫アンテナケーブルの給電部を貼り付けるとケーブルの配線が困難になります。ケーブルをルーフライニング内に押し込んでから、給電部をガラス面に貼り付けてください。
- ケーブルのたわみや極端な曲がりがないように配線してください。
- ケーブルを強く引っぱらないようにしてください。

8 ⑪アンテナエレメントの台紙 II を矢印の方向に引っ張り、保護フィルムをはがす



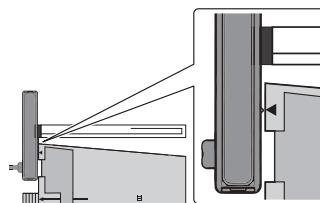
- 台紙 II はゆっくりと引っ張り、台紙 II についている保護フィルム（給電部が緑色のフィルム）がはがれることを確認してください。
- ⑪アンテナエレメントの給電端子に触れないでください。

9 ⑫アンテナケーブルの給電部の保護フィルム I をはがす



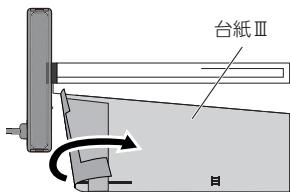
- 給電部の裏の給電端子や、両面テープ面に触れないでください。

10 ⑫アンテナケーブルの給電部を、⑪アンテナエレメントの▲マークに▼箇所を合わせてしっかりと貼り付ける

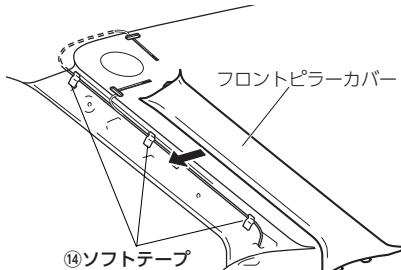


- 貼り付ける力が弱いと、きちんと貼り付かずにはがれる場合があります。

11 ⑪アンテナエレメントの台紙Ⅲをはがす

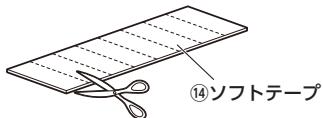


12 ⑫アンテナケーブルを配線する



必要に応じて⑫アンテナケーブルを⑯ソフトテープで固定して配線します。

⑯ソフトテープは⑫アンテナケーブルがきちんと留められる大きさに切ってご使用ください。



注意

- フロントピラーカバーが給電部と干渉しないように注意してください。
- ⑫アンテナケーブルをピラーカバーやダッシュボードなどに挟み込まないように注意してください。ショートを起こし、放送が受信できなくなります。
- ⑫アンテナケーブルを固定するときに、給電部に負荷がかからないように配線してください。また、ケーブルを押しつぶさないようにしてください。
- ⑫アンテナケーブルの給電部をルーフライニングやフロントピラーカバーから離して貼る場合は、ケーブルがたわまないよう注意してください。
- 車両取り付け後、24時間は自然放置して、無理な力を加えないようにしてください。

フロントパネルの基準角度設定

(MDV-M912L のみ)

MDV-M912L は、取り付ける車両によってフロントパネルの基準角度の設定を行う必要があります。

基準角度の設定が取り付ける車両で必要かは、以下のwebサイトで確認してください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/compatibility/>

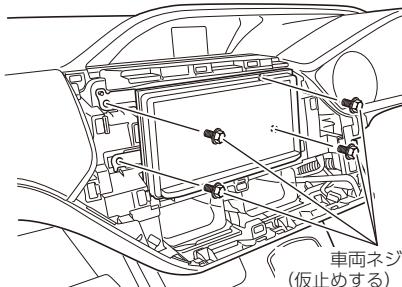


基準角度の設定が必要な場合は、以下の手順で設定を行います。



- フロントパネルの基準角度の設定には、チルトアダプター（純正部品）が必要です。別途購入をしてください。
- マルチビューカメラCMOS-320（別売品）を接続する場合は、基準角度の設定の前に、「カメラの識別設定」（P. 31）を参照して、フロントビューカメラの設定を行ってください。また、フロントビューカメラの設定後は、本機を取り付ける前に、フロントビューカメラのスイッチユニットが外れていることを確認してください。

1 本機を車両に仮固定する



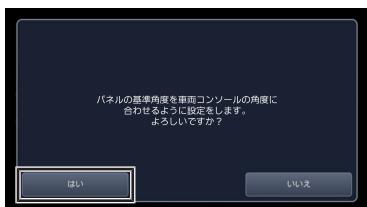
本機の取り付け方法については、「本機の取り付け」（P. 19）をご覧ください。

2 車両のエンジンキーを"ACC"または"On"にして本機の電源をオンにする

3 パネル基準角度設定画面を表示させる

- フロントビューカメラを取り付けない場合

メッセージが表示されたら [はい] をタッチする



- フロントビューカメラを取り付ける場合

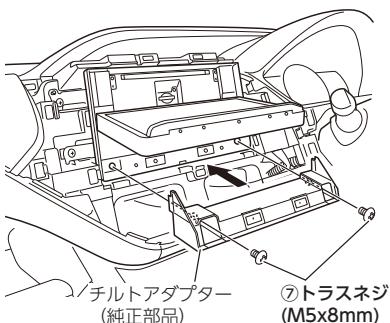
フロントパネルの【MENU】を押して、
【情報・設定】、【システム】、【車両】、
【パネル基準角度】の順にタッチする

4 【パネルオープン】をタッチする



パネルが開きます。

5 チルトアダプター（純正部品）を取り付けて、付属の⑦トラスネジ（M5x8mm）で固定する



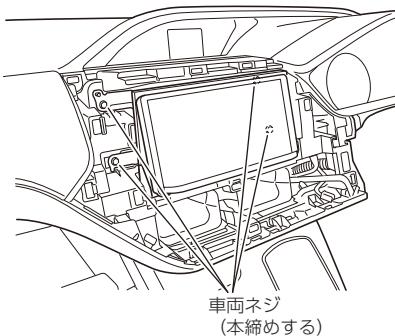
- 本機を上に持ち上げながらチルトアダプターを取り付けてください。
- 本機を持ち上げる際は、フロントパネル部を持たないでください。

6 【パネル基準角度】をタッチする

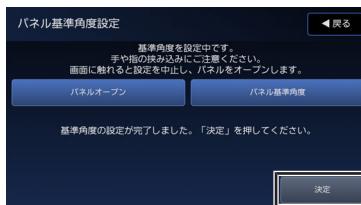


パネルが閉まります。

7 車両ネジを本締めして、本機を固定する



8 【決定】をタッチする



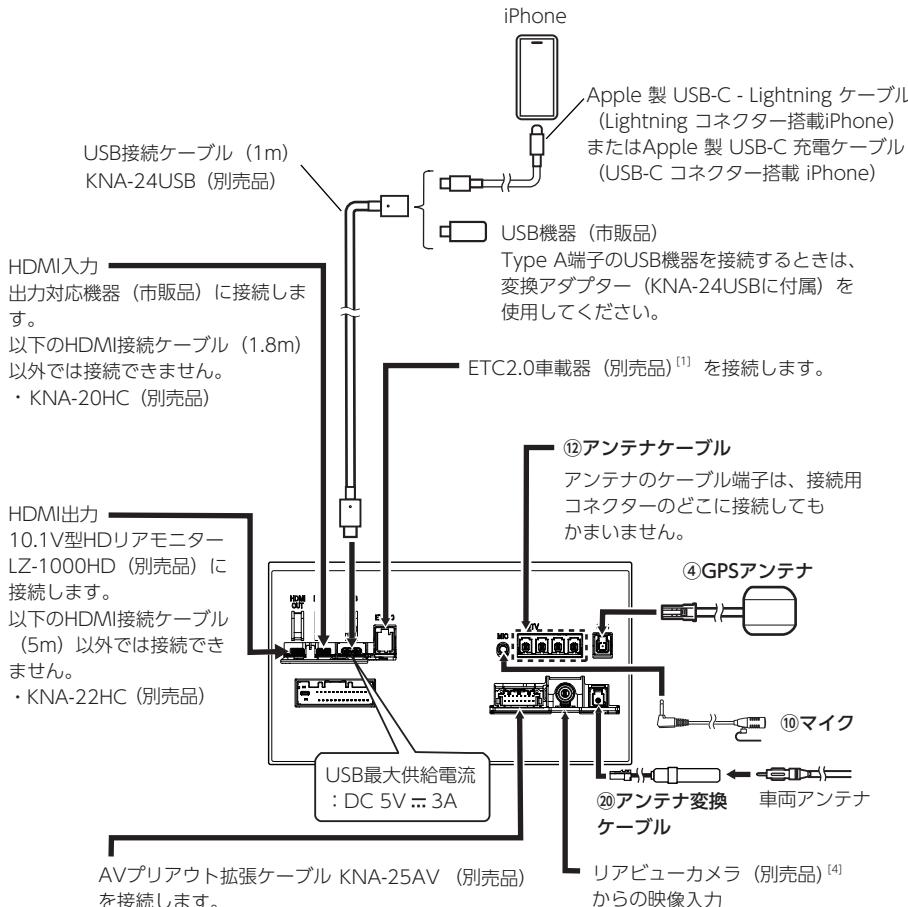
- 本機を上に持ち上げながらチルトアダプターを取り付けてください。
- 本機を持ち上げる際は、フロントパネル部を持たないでください。

周辺機器の接続



注意

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの \ominus 端子を外してください。



^[1] 「ETC2.0車載器 (別売品) の接続方法」 (P. 29) をご覧ください。

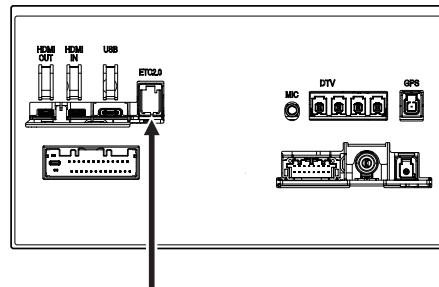
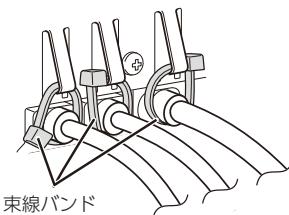
^[2] 「ドライブレコーダーの接続」 (P. 36) をご覧ください。

^[3] 「フロントビューカメラ (別売品) の接続方法」 (P. 31) をご覧ください。

^[4] 「リアビューカメラの接続」 (P. 35) をご覧ください。

接続上のご注意

- 別売品、市販品の詳しい取り付けおよび接続方法は、各々に付属の取扱説明書をご覧ください。
- iPhoneまたはUSB機器はグローブボックスなどに収納します。それぞれのケーブルは機器を取り付けられる位置に引き出してください。
- 周辺機器のケーブルは必要に応じて市販のケーブルクランパーを使用して固定してください。
- USB-C - LightningケーブルおよびUSB-C充電ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。
- 別売のナビ連動型前後撮影対応2カメラドライブレコーダーDRV-MN970/DRV-MN940、ナビ連動デジタルルームミラー型ドライブレコーダーDRV-EMN5700、またはナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530と、デンソー製ETC車載器DIU-5610/DIU-5412/DIU-5310は同時に接続できません。
- 本機対応のドライブレコーダーを接続する場合は、AV拡張ケーブルKNA-25AV（別売品）を使用します。ドライブレコーダーに付属のケーブルは使用できません。
- フロントカメラを接続する場合は、AV拡張ケーブルKNA-25AV（別売品）を使用します。
- USB接続ケーブルKNA-24USB（別売品）とHDMI接続ケーブルKNA-20HC、KNA-22HC（別売品）を接続したときは、抜けを防止するため図のように市販の束線バンドを使ってケーブルを確実に固定してください。



ケンウッド製 本機対応ETC2.0車載器	接続ケーブル
カーナビ連動型高度化 光ビーコン対応 ETC2.0車載器 ETC-N7000	ETC2.0車載器に付属
カーナビ連動型 ETC2.0車載器 ETC-N3000	ETC2.0車載器に付属



- 下記の市販品と別売の本機対応の接続ケーブルをお持ちの場合は、本機に接続することができます。
パナソニック製ETC2.0車載器：CY-ET2000D
パナソニック製ETC2.0車載器：CY-DSR140D
デンソー製ETC2.0車載器：DIU-B040

ETC2.0車載器（別売品）の接続方法

- ETC2.0車載器を接続したときは、本機での設定が必要です。設定については「ユーザーズガイド」(P. 2) の「ETC2.0車載器の接続設定をする」をご覧ください。

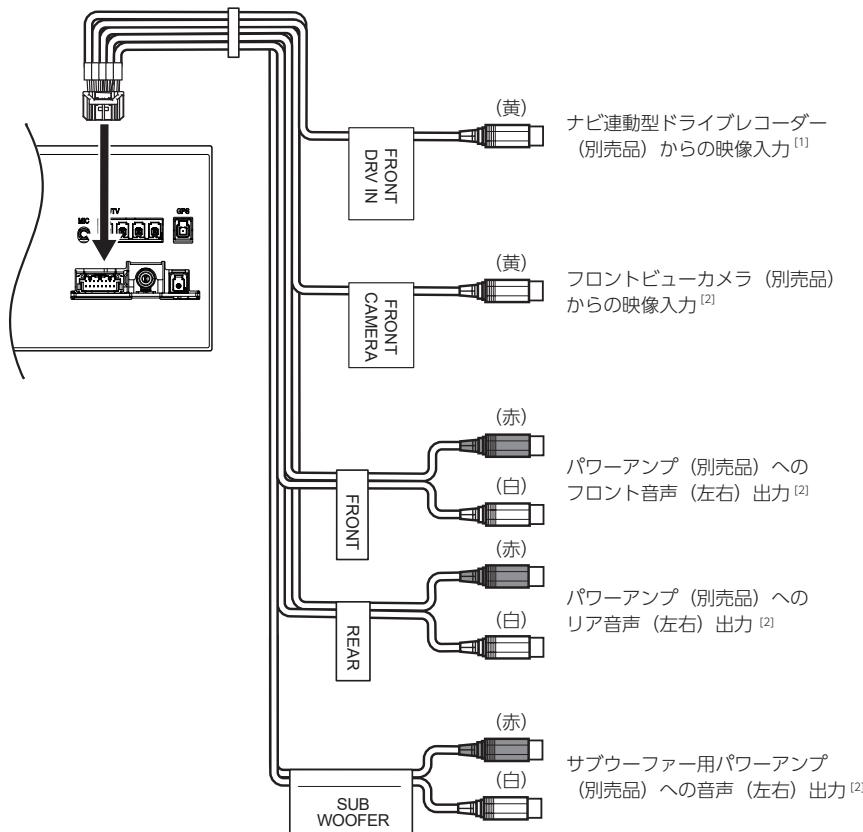
AVプリアウト拡張ケーブル（別売品）の接続方法

ドライブレコーダーや、フロントカメラ、パワーアンプを使用する場合は、別売のAVプリアウト拡張ケーブルKNA-25AVに接続します。



- ケーブル端子に接続するときはキャップを外してから接続してください。接続しない場合は、キャップを外さないでください。

AVプリアウト拡張ケーブル
KNA-25AV（別売品）



^[1] 本機に接続可能なドライブレコーダーについては、「別売品について」(P. 39)をご覧ください。

^[2] MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M912L のみ

フロントビューカメラ（別売品）の接続方法

(MDV-MX12F / MDV-M912F / MDV-M912L のみ)

マルチビューカメラCMOS-320（別売品）をフロントビューカメラとして使用する場合の接続方法です。

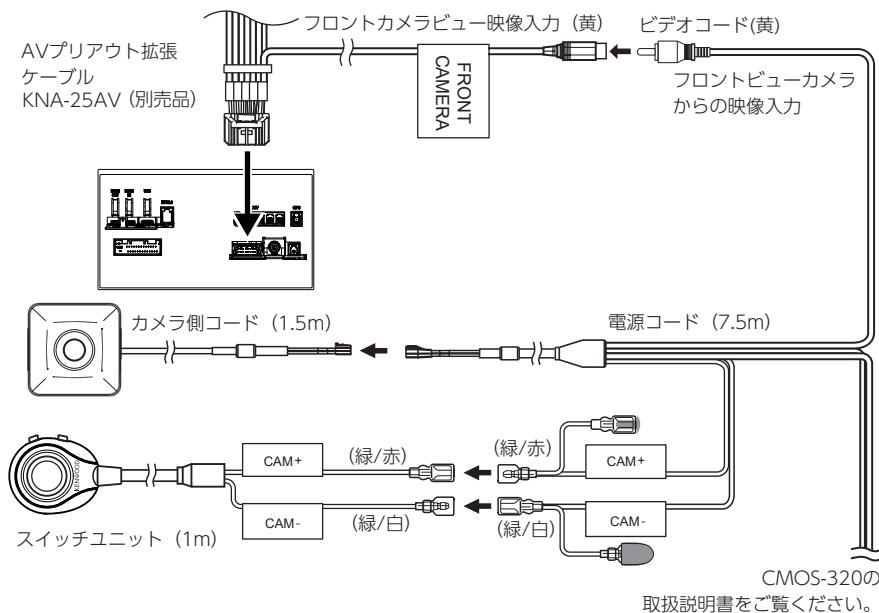


- CMOS-320 をフロントビューカメラとして使用する場合は、カメラの識別設定が必要です。
→「カメラの識別設定」(P. 31)
設定についてはCMOS-320 の取扱説明書をご覧ください。
(リアビューカメラとして使用する場合は、識別設定は不要です)
- カメラの識別設定をするときは、CMOS-320 同梱のスイッチャユニットを接続する必要があります。
また、設定が終わったら必ずスイッチャユニットは外してください。

カメラの識別設定

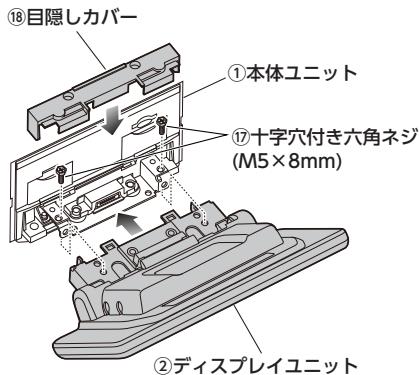
スイッチャユニットを接続し、CMOS-320（別売品）の識別設定をします。

1 CMOS-320（別売品）とスイッチャユニットを接続する



2 ⑥電源ハーネスを本機に接続する

3 MDV-MX12F /MDV-M912F に接続する場合は、②ディスプレイユニットを①本体ユニットに仮止めする



②ディスプレイユニットは、⑯十字穴付き六角ネジ(M5×8mm)2本で仮止めします。

⑯目隠しカバーは仮止めのため、ネジ止めは行いません。（目隠しカバーを取り付けないと本機の電源がオンになりません）

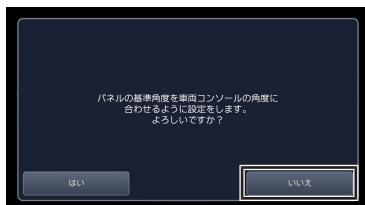


注意

- ①本体ユニット、②ディスプレイユニットを持ち運ぶときは、取り付け時に落とさないように注意してください。足の上などに落とすとけがや機器の損傷の原因となります。

4 車両のエンジンキーを"ACC"または"ON"にして本機の電源をオンにする

5 MDV-M912L に接続する場合は、メッセージが表示されたら [いいえ] をタッチする



6 【MENU】を押して、【情報・設定】にタッチして【外部機器】をタッチする

7 【フロントカメラ接続】をタッチして、【専用フロントカメラ】をタッチする



8 【HOME/AV】を押して、【カメラ】をタッチする



9 スイッチャユニットの+ボタンを2秒以上押したあとーボタンを2秒以上押す



設定画面が表示されます。

設定についてはCMOS-320の取扱説明書をご覧ください。

10 設定が終了後、車両のエンジンキーを“OFF”にして、本機から⑥電源ハーネスを外す

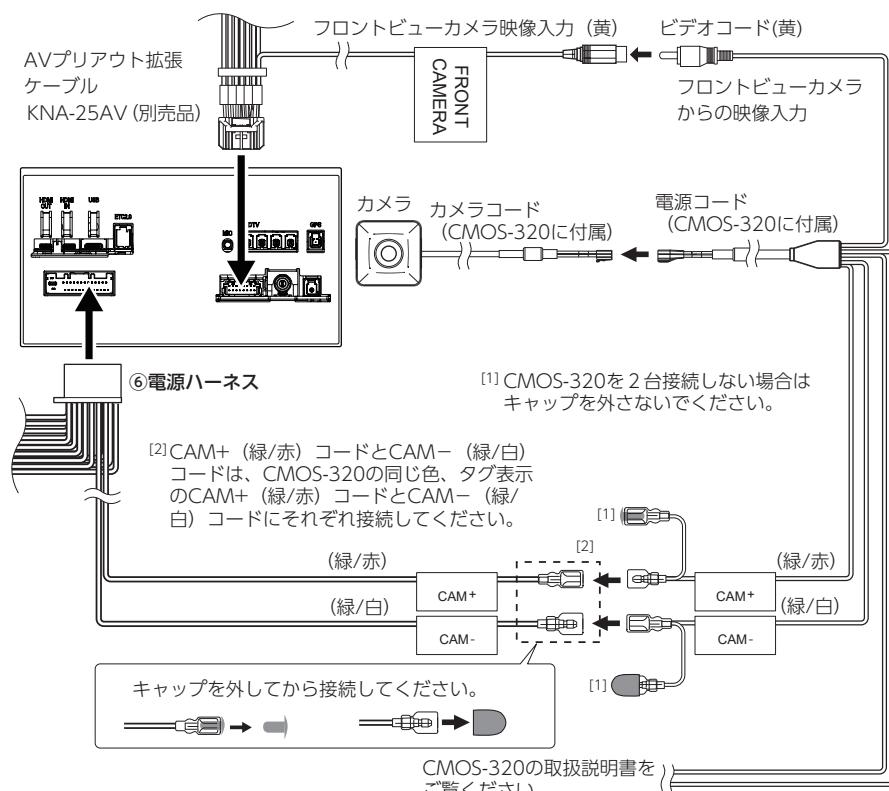
11 スイッチャユニットを外す

12 フロントビューカメラを接続する

➡ 「フロントビューカメラの接続」 (P. 34)

フロントビューカメラの接続

スイッチユニットを外し、CMOS-320（別売品）の電源コードを⑥電源ハーネスに接続します。



- 詳しい接続方法については、CMOS-320に付属の取扱説明書をご覧ください。
- フロントビューカメラとしてCMOS-320を接続する場合は、CMOS-320側で設定が必要です。➡「カメラの識別設定」 (P. 31)

リアビューカメラの接続

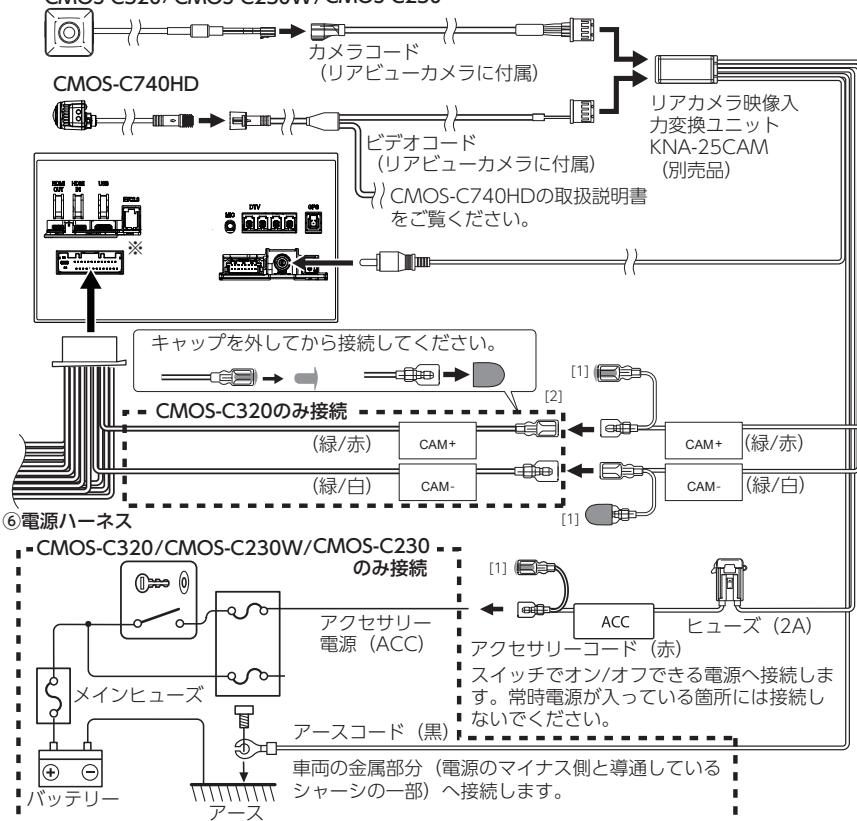


- 本機に接続可能なリアビューカメラについては、「別売品について」(P. 39)をご覧ください。
- CMOS-C320、CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-C740HDを接続するには別売のKNA-25CAMが必要です。
- 接続するリアビューカメラによって、[リアカメラ接続] の設定が必要です。
CMOS-C740HD (別売品) 接続時 : HDカメラ
CMOS-C320/CMOS-320 (別売品) 接続時 : 専用カメラ (コントロール機能付)
CMOS-C230W/CMOS-C230/CMOS-230W/CMOS-230 (別売品) 接続時 : 汎用カメラ
詳しい設定方法は、「ユーザーズガイド」(P. 2) の「リアビューカメラ接続設定」をご覧ください。
- 詳しい接続方法については、リアビューカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

■ CMOS-C320、CMOS-C230W、CMOS-C230、CMOS-C740HDの接続

CMOS-C320/CMOS-C230W/CMOS-C230

CMOS-C740HD



[1] 接続しません。キャップは外さないでください。

[2] CAM+(緑/赤)コードとCAM-(緑/白)コードは、リアビューカメラの同じ色、タグ表示のCAM+(緑/赤)コードとCAM-(緑/白)コードにそれぞれ接続してください。

■ CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230の接続

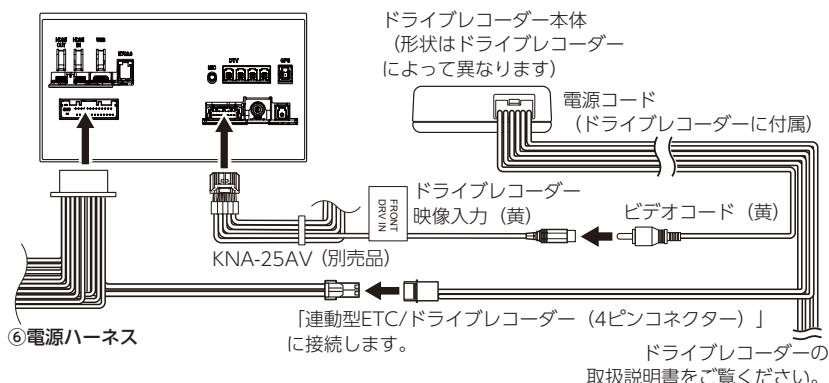


ドライブレコーダーの接続



- 本機に接続可能なドライブレコーダーについては、「別売品について」(P. 39)をご覧ください。
- 詳しい接続方法については、ドライブレコーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ドライブレコーダーを接続するには、別売のAVプリアウト拡張ケーブルKNA-25AVが必要です。

■ ドライブレコーダー（別売品）の接続方法



- ドライブレコーダーのコントロール信号 (4ピンコネクター) は⑥電源ハーネスに接続します。ドライブレコーダーに付属のケーブルは使用できません。
- ドライブレコーダーのビデオコード (黄) は、AVプリアウト拡張ケーブルKNA-25AV (別売品) に接続します。ドライブレコーダーに付属のケーブルは使用できません。

電源ハーネスの接続



実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの \ominus 端子を外してください。



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。

規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



- ⑥電源ハーネスのコネクターはすべての配線が完了し、配線に間違いないか確認してから本機に接続してください。
- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 別売ワイヤリングキット（トヨタ車用：KNA-25WT）の電源の接続については「ユーザーズガイド」（P. 2）の「KNA-25WT の電源接続」をご覧ください。
- 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。
- ステアリングリモコンの対応車両と接続方法については、以下のウェブサイトでご確認ください。



[https://www.kenwood.com/jp/
car/option/cables/model-by-
steering-remote-cable/](https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/model-by-steering-remote-cable/)

接続方法

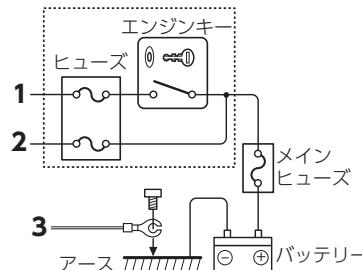
1 「接続」（P. 38）を参照して⑥電源ハーネスの各ケーブル、コネクターを配線する

配線時に下記の電源配線別図、スピーカー配線別図も参照してください。

2 ⑥電源ハーネスのコネクターを本機に接続する

● 電源配線別図

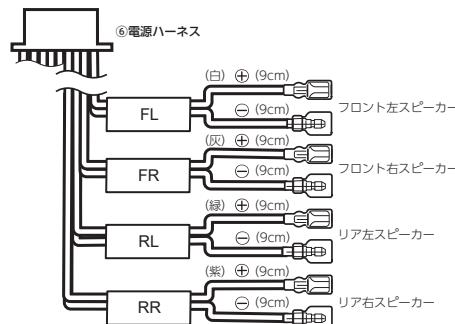
輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリー電源コードに接続してください。



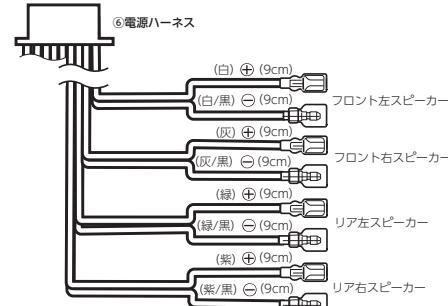
● スピーカー配線別図

スピーカーは、下図のケーブル色と極性を参照して接続してください。

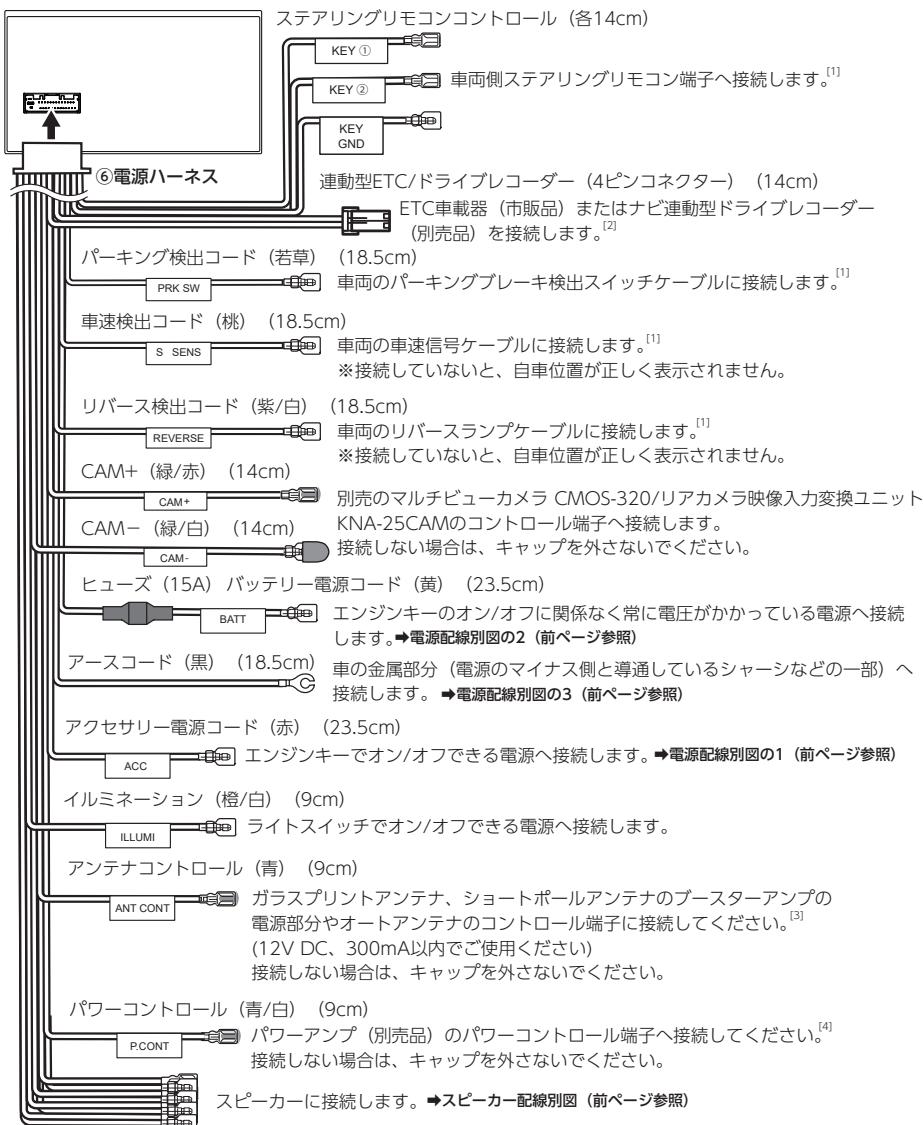
• MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M912L



• MDV-M812F /MDV-M812L /MDV-M712W /MDV-M712



接続



[1] 取付キットにステアリングリモコンコード、パーキング検出コード、車速検出コード、リバース検出コードが無い場合は、各コードの端子を切り取り、市販の中継コネクターを使用して接続してください。0.5sqケーブル対応の中継コネクターを使用してください。

[2] 接続方法は「ドライブレコーダーの接続」(P. 36)をご覧ください。本機に接続可能なETC車載器、ドライブレコーダーについては、「別売品について」(P. 39)をご覧ください。

[3] 接続した場合は、「オートアンテナ (電動アンテナ装備車) の操作について」(P. 7) もお読みください。

[4] MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M912Lのみ

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- USB接続ケーブル KNA-24USB
本機にUSB機器を接続するケーブルです。
- HDMI接続ケーブル（出力用） KNA-22HC
本機のHDMI出力をHDMI機器に入力するケーブルです。
- HDMI接続ケーブル（入力用） KNA-20HC
HDMI機器のHDMI出力を本機に入力するケーブルです。
- AVプリアウト拡張ケーブル KNA-25AV
フロントカメラの映像入力、パワーアンプへの音声出力をするケーブルです。ドライブレコーダーを接続する場合はドライブレコーダーの映像入力も接続します。
- ドライブレコーダー
 - ナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用） DRV-N530
 - ナビ連動デジタルルームミラー型ドライブレコーダー DRV-EMN5700
 - ナビ連動型前後撮影対応2カメラドライブレコーダー DRV-MN970/DRV-MN940ドライブレコーダーの接続には、AVプリアウト拡張ケーブルKNA-25AV（別売品）が必要です。
- フロントビューカメラ
 - マルチビューカメラ CMOS-320
対応モデル：MDV-MX12F / MDV-M912F / MDV-M912Lフロントビューカメラの接続には、AVプリアウト拡張ケーブルKNA-25AV（別売品）が必要です。
- リアビューカメラ
 - ケンウッド専用マルチビュリアリacamara^[1] CMOS-C320
 - マルチビューカメラ CMOS-320
 - ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ^[1] CMOS-C230W/CMOS-C230
 - スタンダードリアビューカメラ CMOS-230W/CMOS-230
 - HDリアビューカメラ^[1] CMOS-C740HD
- ETC車載器
デンソー製ETC車載器
 - DIU-5610
 - DIU-5310
 - DIU-5412付属の電源ハーネスに接続します。

● ETC2.0車載器

- ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビー コン対応ETC2.0 車載器 ETC-N7000
- ケンウッド製カーナビ連動型ETC2.0車載器 ETC-N3000
- パナソニック製ETC2.0 車載器 CY-ET2000D
接続ケーブル：KNA-P12DSRC（別売品）
- パナソニック製ETC2.0車載器 CY-DSR140D
接続ケーブル：KNA-P15DSRC（別売品）
- デンソー製ETC2.0車載器 DIU-B040
接続ケーブル：KNA-D15DSRC（別売品）
- リアモニター
 - 10.1V型HDリアモニター LZ-1000HD
- トヨタ車用ワイヤリングキット KNA-25WT

^[1] 接続にはリアカメラ映像入力変換ユニット KNA-25CAM（別売品）が必要です。

● ETC車載器

デンソー製ETC車載器

- DIU-5610
- DIU-5310
- DIU-5412

付属の電源ハーネスに接続します。

メディアとファイルの使用上のご注意

■ご使用上の注意事項

- USB機器やSDカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。
- 本機で再生するオーディオファイル、ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- 本機で再生できるメディアやSDカード、USB機器、オーディオファイル、ビデオファイルの詳細については「ユーザーズガイド」(P. 2) の「メディアおよびファイルについて」をご覧ください。

■本機で再生できるディスクメディア

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RW およびDVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスクは、ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障したりすることがあります。
- 8cmディスク、8cmディスクアダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

■ディスク使用上のご注意

- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

■SDカード使用上のご注意

- miniSDカード、microSDカードはSDカードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。

- ご使用の際には、必ずSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32、またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機はSD-Audio規格には対応していません。
- すべてのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■USB機器使用上のご注意

- 接続したUSBデバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- すべてのUSBデバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- セキュリティ機能付きのUSBデバイスは使用できません。
- USB接続ケーブルKNA-24USB（別売品）以外のケーブルを使用すると、正常に再生できない場合があります。
- USBデバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32、NTFS、またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- USBデバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

USBハブの使用について

- 本機では、1本のUSB接続ケーブルに対し1台のUSBハブを接続して、最大4つ（パーティション含む）のUSBデバイスを接続できます。ただし、すべての接続機器の動作を保証するものではありません。
- USBハブはUSB接続ケーブル1本につき2台以上接続しないでください。

- 消費電流の大きい機器をUSBハブに接続すると動作しない場合があります。この場合はUSB接続ケーブルに直接接続してください。
- USBハブを使って接続するときは、USBハブを本機のUSB接続ケーブルに接続してから、USB機器をUSBハブに接続してください。
- iPhoneはUSBハブを介した接続ができません。USB接続ケーブルに直接接続してください。

地図のデータベースについて

本製品の地図の作成にあたって使用しているデータベースの詳細については、「ユーザーズガイド」(P. 2) の「地図データベースについて」をご覧ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねます。

iPhoneについて

■本機でコントロールできるiPhoneについて

Made for

- iPhone 16e
- iPhone 16 Pro Max
- iPhone 16 Pro
- iPhone 16 Plus
- iPhone 16
- iPhone 15 Pro Max
- iPhone 15 Pro
- iPhone 15 Plus
- iPhone 15
- iPhone 14 Pro Max
- iPhone 14 Pro
- iPhone 14 Plus
- iPhone 14
- iPhone SE (3rd generation)
- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR

- 音楽再生のみに対応します。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。
- iPhoneの機種や、iOSのバージョンによっては一部機能が制限される場合があります。

特許権/著作権/商標など



Works with
Apple CarPlay



Works with
Android Auto





Dolby Audio



「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の登録商標です。

LDACおよびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.



is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S., Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.

Apple, Apple CarPlay, iPhone, Siri, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。

MapFan はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

VICSおよびVICS WIDEは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

NaviConは、株式会社ミックウェアの登録商標です。

「マップクリップ」はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Google、Android、Android Auto、Google マップ、およびその他のマークは Google LLC の商標です。互換性のある Android スマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。

A phone must be running Android 9.0 or higher to use Android Auto. The Android Auto app comes pre-installed on these devices; therefore, you do not need to download it separately.

本製品には、株式会社ユビキタスAIの高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスAIの商標です。

Copyright® 2025 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®

with
Hitachi
Speech
Synthesizer

「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。

ITSスポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Alliance®の商標です。

“Hi-Res Audio”ロゴと“Hi-Res Audio Wireless”ロゴは日本オーディオ協会のライセンスを受けて使用しています。



USB Type-C および USB-C はUSB Implementers Forumの商標です。

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org

Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLE.COM](http://www.mpegle.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLE.COM](http://www.mpegle.com)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary
forms, with or without modification, are
permitted provided that the following
conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE
COPYRIGHT HOLDERS AND
CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY
EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION
OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY
DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,
EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED
TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER
IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2015 Xiph.org
Foundation
Redistribution and use in source and binary
forms, with or without modification, are
permitted provided that the following
conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE
COPYRIGHT HOLDERS AND
CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS
OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND
FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE
LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS
OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER
IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
(INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
DAMAGE.

主な仕様

● ナビゲーション部

衛星測位システム	受信衛星 受信信号 測位形式	GPS, GLONASS, QZSS (準天頂衛星), Galileo, BeiDou L1, L1S (SLASのみ対応) 3D/DGPS
VICS		FM多重、VICS WIDE
センサー		6 軸慣性センサー (ジャイロ3軸+ 加速度3軸)

● モニター部

画面サイズ	MDV-MX12F : 10V型HDパネル MDV-M912F / MDV-M912L : 9V型HDパネル MDV-M812F / MDV-M812L : 8V型HDパネル MDV-M712W / MDV-M712 : 7V型HDパネル
タッチパネル方式	静電容量方式タッチパネル

● オーディオ部

最大出力	50W×4
定格出力	28W×4 (4Ω, 1kHz, 10%THD)
インピーダンス	4~8Ω

● HDMI入力 (HDMI接続ケーブルKNA-20HC (別売品) 必要)

入力端子	TYPE-D 1系統
------	------------

● HDMI出力 (HDMI接続ケーブルKNA-22HC (別売品) 必要)

出力端子	TYPE-D 1系統
------	------------

● 外部入出力部

リアビューカメラ入力	端子	RCA 1系統
ドライブレコーダー映像入力 ^[1]	端子	RCA 1系統

外部機器通信端子	端子	電源ハーネス 内に蔵
----------	----	---------------

● Wi-Fi部 (MDV-MX12F / MDV-M912F / MDV-M912L のみ)

無線LAN規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac	
周波数範囲	2.4GHz 5GHz	2.401~2.473GHz 5.150~5.250GHz
使用チャンネル	2.4GHz 5GHz	1-11ch W52(36/40/44/48ch)
セキュリティ方式	OPEN/WEP/ WPA(Personal)/ WPA2(Personal)/ WPA3(Personal)	
出力	最大+13dBm	

● Bluetooth部

Version	Bluetooth Ver. 5.2準拠
---------	----------------------

● 地デジチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
------	--------------------------------

● FM部

受信周波数範囲	76.0MHz~99.0MHz
---------	-----------------

● AM部

受信周波数範囲	522kHz~1629kHz
---------	----------------

● USB I/F部 (USB接続ケーブルKNA-24USB (別売品) 必要)

USB (Type-C)	USB2.0 High Speed
最大供給電流	DC 5V ≈ 3A

● SDカード部

対応SD	SD/SDHC/SDXC
------	--------------

● ディスク部

対応ディスク	DVD-Video, DVD-VR (CPRM), DVD±R/ ±RW/±R DL, CD-DA, CD-R/RW, SACD (CD LAYER ONLY) (8cmディスク非対応)
--------	---

● 電源

電源電圧	14.4V (10.5V~16V)
最大消費電流	15A

使用温度範囲 -10～+60°C	
● 尺寸/質量	
本体部外形寸法 (突起物を除く) (W×H×D)	MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M812F : 178mm × 100mm × 158mm MDV-M912L : 234mm × 134mm × 190mm MDV-M812L : 197mm × 125mm × 182mm MDV-M712W : 206mm × 104mm × 174mm MDV-M712 : 180mm × 100mm × 183mm
本体部埋込寸法 (W×H×D)	MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M812F : 178mm × 100mm × 155mm MDV-M912L /MDV-M812L /MDV-M712W /MDV-M712 : 178mm × 100mm × 160mm
本体部質量 (重さ)	MDV-MX12F /MDV-M912F /MDV-M812F /MDV-M712 : 2.2kg MDV-M912L : 2.6kg MDV-M812L : 2.4kg MDV-M712W : 2.3kg
パネル部外形寸法 (突起物を除く) (W×H×D) MDV-MX12F : 247mm x 165mm x 32mm MDV-M912F : 251mm x 137mm x 22mm MDV-M812F : 225mm x 137mm x 21mm	
パネル部質量 (重さ) MDV-MX12F : 1.4kg MDV-M912F : 1.2kg MDV-M812F : 1.0kg	

[¹] 別売のAVプリアウト拡張ケーブルKNA-25AVが必要です。

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
各部の詳細な仕様については「ユーザーズガイド」(P. 2)をご覧ください。

保証とアフターサービス

■保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

■修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話からは0570-010-114 (ナビダイヤル)
IP電話などからは045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

■修理を依頼されるときは

「ユーザーズガイド」(P. 2)の「故障かなと思ったら」を参考してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

- | | |
|--|---|
| ● 保証期間中は…
保証規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書に必要事項を記入の上、ご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書および保証規定をご覧ください。 | ● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。） |
|--|---|

- | |
|--|
| ● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機や一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。 |
|--|

- | |
|---|
| ● 車両からの取り外し/取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しましたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。 |
|---|

- | |
|---|
| ● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。 |
|---|

MEMO

保証規定

1. 保証書に表示の保証期間内に本書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- (1) 本保証書のご提示のない場合。
- (2) 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- (3) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- (4) 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(本書等の取扱説明の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
- (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- (6) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
- (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
- (8) 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶＜船舶用製品を除く＞、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
- (9) 製造番号の改変および、取り外した製品。
- (10) 消耗部品(例えは、SDメモリーカード、乾電池、充電池等)の交換。
- (11) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- (12) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)

7. 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて、詳しくは本書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。
- ※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

KENWOOD

音響・映像機器

保証書持込修理用
(日本国内専用)

形名／製造番号	※お買い上げ日
	年 月 日
	保証期間（お買い上げ日より）
	本体 年 様
※ お客様	お名前 ご住所 〒
	電話番号 ()
※ 販 売 店	店名・住所 電話番号 ()

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「**保証規定**」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜：9:30～18:00

土曜： 9:30～12:00, 13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

